

大麦の生育量は、排水の良否が「鍵」となります。水稻収穫後は直ちに排水溝を設置し、ほ場の乾きを促し、播種期の降雨後でも、速やかに播種作業に入れるようにしておきましょう。

## 1. ほ場の準備

### ①排水対策

- ・ 稲の収穫後、速やかに額縁排水溝と7～8m間隔に排水溝を設置してください。
- ・ 排水溝は掘り下げた排水口に確実につなぎましょう。

### ②土壌 pH の改善

- ・ 土壌 pH が 6.0～6.5 となるよう、耕起前に石灰質資材(珪酸石灰: 100kg/10a 以上)を必ず施用してください。



秋の収穫後、速やかに排水溝を設置



排水溝を排水口に必ず連結

## 2. 播種

### ①種子消毒

薬剤名	消毒内容	使用方法
ベンレート水和剤 20	種子重量の 0.5% 粉衣	種子 10kg に対して、薬剤 50g と水 200ml を均一に混和

### ②耕起・畝立て・播種

- ・ 畝幅は 3m 以内とし、高畝にしましょう。
- ・ 溝は「幅 30cm、深さ 20cm 以上」とし、排水口に必ず連結してください。
- ・ 耕起～播種、作溝の一連の作業は一日で行いましょう。



畝幅は 3m 以内のかまぼこ型

### <基肥量の目安>

施肥体系	肥料名	施用量 (10a 当たり)
一発	Jコート大麦48号	45kg
分施	化学化成オール14	40kg

### <播種時期ごとの播種量の目安>

播種時期	目標苗立数 (m <sup>2</sup> 当たり)	播種量の目安 (10a 当たり)	
		ドリル播	表面散播
9月下旬	140本	6.0kg	6.5kg
<b>10月上旬</b>	<b>150本</b>	<b>6.5kg</b>	<b>7.0kg</b>
10月中旬	200本	8.5kg	9.0kg

- ・ ドリル播の播種深さは、3cm 程度を目安にしましょう。



ドリル播

### ③除草剤 (ドリル播の場合)

農薬名	散布量 (10a 当たり)	散布時期	注意点
ゴーゴーサン細粒剤 F	5～6kg	播種後出芽前 (雑草発生前)	表面散播のほ場には使用しないでください。
ゴーゴーサン乳剤	300～500ml (希釈水量 70～150ℓ)		